

## 1. 今月の活動

### 【ストップ結核パートナーシップ推進議員連盟】

平成21年1月20日、衆議院第1議員会館にて総会が開かれた。外務省から結核を含む三大感染症(エイズ、結核、マラリア)の対策支援として日本政府は世界基金に8.5億ドルを拠出し(世界基金全体に占める日本の拠出金は8%、順位4位)、2009年以降5.6億ドルの追加拠出を予定しているとの報告があった。しかし、これまでの世界基金からの資金拠出のうち日本のNGOの活動には3億円程度が拠出されているのみで、しかもエイズとマラリア関連の活動であり、結核対策活動への資金拠出はゼロであることや世界基金の事務局470名のうち、日本人職員は2名のみという実態が報告された。今後、日本のNGOの活動への資金拠出や事務局への人員の増加を求めていくことが確認された。

一方国内では、厚生労働省から新たな結核患者が2万5000人以上発生している等、国内結核の状況報告や今年1月初めの年越し派遣村で結核患者が発見されたが幸いにして感染の拡大はなかったということが報告され、結核対策普及推進員を設置するという提案も発表された。これに対して出席した議員からは社会的な弱者にしわ寄せがいており既存のセーフティーネットが機能していない等の指摘がなされた。結核予防会からは結核患者一人の入院・治療にあたり約40万~50万円の赤字が医療機関で発生している等、結核に関する診療報酬上の問題点を指摘、入院基本料の引き上げや陰圧設備への加算についての要望が出された。

ストップ結核パートナーシップ日本から結核死を世界で年間16万人削減するために結核患者の発見・治療に必要な経費35億円を含む総額55億円が一年間に必要であるという発表があった。最後に国内の結核対策を推進することを議連として麻生太郎総理に申し入れることが確認され了承された。

2月6日、参議院議員会館にて今年2回目の総会が開かれ、(財)日本国際交流センターの理事長で世界基金支援日本委員会の山本正氏、(特活)アフリカ日本協議会理事の稲場雅紀氏、外務省国際協力局参事官の山本栄二氏により世界基金の現状に関する報告がなされた。外務省国際協力局民間援助連携室長の川口三男氏、(財)結核予防会専務理事の金子洋氏、結核予防会結核研究所の国際協力部長山田紀男氏から結核対策の二国間援助案件としてフィリピンとザンビアでの予防会の活動報告がなされた。そのなかで結核に対して途上国が自らオーナーシップを発揮するため現地NGOとの緊密な協力をはかりつつ、技術提供などを展開すること、国別調整メカニズム(CCM)への一層の日本の関与と特に日本のNGOの実施能力の向上と国際的に活躍できる人材の育成をはかっていくことが必要だという認識が出席者間で共有された。

前回と今回の総会を踏まえて、緊急雇用対策のなかに結核対策を含めること、非正規社員へのヘルスケア対策、結核の診療報酬の見直し等を、ストップ結核パートナーシップ推進議員連盟の事務局案として取りまとめ、早急に麻生太郎総理へ申し入れを行うことを再度確認した。

## 2. ストップ結核パートナーシップ日本(STBJ)の活動

2月2日、ストップ結核パートナーシップ日本の理事会が開かれ、本年の大目標が決定した。ストップ結核ジャパンアクションプランの遂行がその一つであり、関係団体と連携すること、世界基金等と連携した活動ができるようフィリピン、ザンビアのパイロットプロジェクトを端緒として事業拡大を支援すること、新技術が早期に実用化するよう研究開発の環境を整えること、国際研修修了生のネットワーク強化の支援を行うことなどを通して世界の10%の結核死削減を目指すこととなった。また、パートナーシップを幅広い国民運動へと拡大し、当事者(患者さん等)の参加機会を意識的に拡大・創出しながら、個人会員10万人、団体会員60団体と活動できるよう広報活動に注力することになった。

### 3 . マンスリ ミーティング

1月のミーティングは、「川田龍平議員と共に人権問題について考える」というテーマで開催した。川田龍平参議院議員から、HIV/エイズの問題は、感染の問題と差別の問題の二つの面があるということ、国の予算は治療だけではなく予防に対してもっとさかれるべきであること、また、HIV/エイズを恐ろしいものとするHIV/エイズ教育は差別につながりかねず、他の性感染症と合わせた性教育が大切であるということ等をお話し頂いた。さらに、薬剤の治験の被験者の権利を守るための活動や、グローバル化の進んだ現代では、命を守り人権を守るため、国内だけではなくアジアとの関係を強化する必要があるということにも言及された。その後参加者と活発な意見交換を行った。

今回は、2月17日(火)19時から、新宿区保健所の佐藤和央氏をお招きし、路上生活者の結核対策に関連して、実際の現場や現在の行政上のチャレンジ等についてお話を伺う。また、3月9日(月)9時から、現場の様子を見学することを予定している。詳細は、日本リザルツのホームページをご覧ください！

### 4 . マイクロクレジット

【ヒラリー・クリントン国務長官の上院外交委員会指名公聴会スピーチ(抜粋訳)】

個人的なことですが、次期大統領バラク・オバマ氏の母、アン・ダナム氏は、インドネシアで初めてマイクロファイナンスの取り組みを始めた人物であることを紹介したいと思います。バングラデシュ、チリ、ベトナム、南アフリカを含む多くの国でマイクロファイナンスに関わる仕事を行いましたが、貧しい女性たちが小規模の融資を受けて小さなビジネスを始め、生活水準を向上させ、地元経済を変えていく姿を、私は直接見てきました。次期大統領オバマ氏の母は、私が参加した1995年の北京女性会議のマイクロファイナンスに関する討論会に参加することを計画していました。残念ながら彼女の健康状態が優れないために北京に行くことができず、数ヵ月後に亡くなりました。しかし国際開発援助に関わる彼女の活動や、世界中で苦しんでいる女性や多くの人々への思いと気遣いは、彼女の息子にとって重要なものとなり、彼の世界観や考え方にも大きな影響を与えたと言って良いと思います。アン・ダナム氏の取り組みをこれから長い年月をかけて継続していけることを光栄に思います。

#### マイクロクレジット近況報告(1)

『2009年世界開発報告』によると、2005年時点で1日1.25ドルで生活している人々は全世界で14億人(4人に1人)いるという。1981年の19億人(2人に1人)に比べれば、25年間ではるかに改善がみられたものの、「世界の貧困の状況は予想していた以上に深刻化している」と述べられている。昨年の世界金融危機においても、最も打撃を受けたのは職を失った貧しい人たちであることはいままでもない。

こうした社会的弱者に対し、起業を促し、経済的自立へと導く手段が「マイクロクレジット」である。開発途上国では、貧しい人々の多くは自分で材料を仕入れ、それを市場で売ることなどにより収入を得ている。しかし、材料を仕入れるための元手となる資金を調達するのに、通常の金融機関からは担保がなく借りられないため、高利貸から借りるしかなく、いくら売り上げが上がっても、そのほとんどを利子の返済に充てなくてはならない。つまり、借金ばかりが膨らみ、いくら働いても貧困から抜け出せないという構造的な問題があった。

そのため、マイクロクレジットの創始者でバングラデシュ人であるムハマド・ユヌス博士(グラミン銀行総裁、2006年ノーベル平和賞受賞)は、こうした人々を対象に無担保で小額融資(ローン)を行い、元本の返済を行いながら収入を確保し経済的自立を果たせるよう支援したのだ。

日本リザルツは設立当初よりマイクロクレジットなどを推進し、20年以上が経過した。マイクロクレジットがどのような成果をあげ、今後、どのような取り組みが必要なのかを、本ニュースレターで少しずつ報告していきたい。

(今号以降マイクロクレジットの近況についての連載を始めますのでご期待ください)

## 5. パートナーの活動: ボランティアの塚本玲子さん

以前短い間だったが、リザルツのスタッフを勤めさせていただいた。現在は通訳やボランティアとして参加している。イベントやマンスリー・ミーティングに参加したり、発送作業を手伝ったりしている。今年からニュースレターなどの発送先リストをサポートすることになった。リザルツの活動に興味がある方々、参加したい方々に旬の情報が迅速に届くお手伝いできればと思っている。前に他の団体でも発送作業をやったことがあるが、リストの管理は結構大変だ。リザルツの信用が上がるように注意を払って行いたい。発送作業は、手も口も動かしながらワイワイとやるので、大勢でやると楽しい。リザルツを通して、普段は話せない様々な分野の人々と会い、世界で起こっている事、ビジョンなど幅広い話ができることが自分の人生の励みにもなっている。

当マンスリーレターに関するご質問・ご意見などございましたら [results.japan@gmail.com](mailto:results.japan@gmail.com) までご連絡ください。

ご寄附のお願い:世界の貧困・保健問題の解決のため、政策提言活動を行っております。持続的な活動を続けるためにご支援をお願いいたします。郵便局の払い込み用紙に、口座番号00170-9-581459(加入者日本リザルツ)とご記入ください。



ストップ結核（TB）のバレンタイン・チョコレートができました。  
この出来映え、いかがですか？  
個数限定なので皆様に差し上げられないのが残念です。



ストップ結核パートナーシップ日本（STBJ）と日本  
リザルツより心からのバレンタイン・プレゼントです！  
チョコを持って微笑んでいるのは先日テレビ朝日「ワイドスクランブル」  
に出演した多剤耐性結核患者でもある成瀬君です。いや～、爽やかな笑顔、  
イケ面ですね！！